

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 4 5	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Monoamine oxidase-A polymorphisms might modify the association between the dopamine D2 receptor gene and alcohol dependence. モノアミンオキシダーゼ A の遺伝子多型はドーパミン D2 受容体遺伝子とアルコール依存症の型との関連を修飾しているかもしれない	
執筆者 Huang SY, Lin WW, Wan FJ, Chang AJ, Ko HC, Wang TJ, Wu PL, Lu RB.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) J Psychiatry Neurosci. 2007 May;32(3):185-92.	
キーワード モノアミンオキシダーゼ A 遺伝子、ドーパミン D2 受容体遺伝子、アルコール依存症、不安障害	
要 旨 目的： 低モノアミンオキシダーゼ (MAO) の活性と神経伝達物質であるドーパミンはアルコール依存症発症にかかわる重要な因子である。MAO は生命活動に必要なアミンの代謝にかかわる重要な酵素である。そこで、この研究ではドーパミン D2 受容体 (DRD2) 遺伝子とアルコール依存症が MAO の A 型遺伝子 (MAOA) と関連しているかどうかを検討した。	
方法： 427 名の台湾在住の漢族中国人 (226 名のアルコール依存症患者と 201 名の対照) を研究対象とした。アルコール依存症患者のうち、108 名は純粹にアルコール依存症のみであり、118 名はアルコール依存症と不安障害を合併していた。全対象者は中国語版の改訂版情動障害および統合失調症の生活調査を受け、うつ病の有無に関しては精神疾患診断統計マニュアル第 4 版の診断基準に沿った。	
結果： DRD2 遺伝子の多型はアルコール依存症と不安障害の合併の型のみに関連しており、MAOA 遺伝子の多型は純粹なアルコール依存症に関連していた。MAOA3 反復型と DRD2 の A1/A1 を持つ群は MAOA3 反復型と DRD2 の A2/A2 を持つ群と比較して、アルコール依存症と不安障害の合併の型の頻度が 3.48 倍であった。MAOA 遺伝子は DRD2 遺伝子とアルコール依存症と不安障害の合併の表現型との関連を修飾しているのかもしれない。	